

平成25年度行政評価調査  
(平成24年度事務事業評価)

No 24

【1.事業内容】

				前年2次評価結果	未実施	
事務事業名		生ごみ・し尿処理場維持管理事業		担当部課名	生活環境部 廃棄物管理課	
				評価者名	課長 小川 弘純	
総合計画	基本目標	04 生活環境が整い安全安心でゆとりあるまちづくり		予算科目	款	4 衛生費
	目標	38 ごみの減量化とリサイクルを推進します			項	2 清掃費
	主要施策	02 資源リサイクルの推進			目	3 し尿処理費
個別計画	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	名称	恵庭市一般廃棄物処理基本計画(H21～H30)		事業	1 し尿処理場維持管理費
開始年度	平成元年度	完了(終了)年度	年度	補助事業名		
根拠法令、条例、規則、要綱等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
現状と課題(背景)	最終処分場(ごみ埋立場)の延命化及び環境にやさしく、適切にごみ処理を目指し、燃やせるごみとして埋立処理している生ごみを、平成24年度より分別処理し終末処理場の設備を活用したバイオガス化※処理することにより、施設の暖房や発電に活用していく。					
事業目的・意図期待される成果	し尿の適切な処理と共に、生ごみの分別処理に伴い、し尿処理場に隣接された生ごみ処理施設との連携、効率的な管理運営を目指していく。又、バイオガス化による発電効果により下水終末処理場との一体的な効果が期待される。					
事業概要、手段・方法など	生ごみ処理施設をし尿処理場と隣接し、人の配置や設備の共有等により効率的な管理運営を実施。又、生ごみのバイオガス化による発電効果と共に、電気料の一元化契約を行う等、経費の削減を進める。					

バイオガス化…生ごみなどの発酵などによりガスを発生させること。

【2. 事業費】

(単位:千円)

区分		23年度決算額		24年度決算額		25年度予算額		補足説明等
総事業費(A)+(B)		25,096		38,354		58,668		H23年度はし尿処理施設のみ、H24年度からは生ごみ・し尿処理施設、H25年度からは公営企業会計に伴い下水道受託事業扱いにより人件費分も込み
(財源内訳) 事業費	国支出金							
	道支出金							
	地方債							
	受益者負担							
	その他							
	一般財源	22,584		35,842		58,668		
計(A)		22,584		35,842		58,668		
(事業費以外) 人件費	事務量(職員 臨時)	0.40 人工	日	0.40 人工	日	人工	日	
	職員分	2,512		2,512		0		
	超勤分							
	臨時職員分	0		0		0		
計(B)		2,512		2,512		0		
(積算内訳) 事業費	施設維持管理費	(決算額)		(決算額)		(予算額)		
		22,584		35,842		58,668		
								H25年度は生ごみ・し尿設備の交換部品として前年より約530万円増加

### 【3. 実施結果】

活動指標	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度(見込・目標値)
家庭からの生ごみ収集量	トン	目標 ㉑	—	2,853	3,264
		実績 ㉒	—	2,586	—
目標達成率(㉒÷㉑)		(%)	—	91	—

成果指標	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度(見込・目標値)
施設での発電量 (下水終末処理場)	kwh	目標 ㉑	—	410,000	1,270,000
		実績 ㉒	—	893,904	—
目標達成率(㉒÷㉑)		(%)	—	218	—

### 【4. 項目別評価】

		項目	評価	理由
1 次 評 価	① 目標達成度	A. 個別事業の目標を達成できた。(達成率100%)	B	生ごみ処理過程による設備点検を慎重に進めながら運転をしており、全量処理の期間は予定よりも少ない形で実施
		B. 個別事業の目標を概ね達成できた。(達成率80～99%)		
		C. 個別事業の目標を期待通り達成できなかった。(達成率80%以下)		
	② 主要施策への 貢献度	A. 主要施策の達成に大きく貢献し、成果を挙げた。	A	家庭からの可燃・生ごみの減量化は前年比△7%、施設の北電からの受電量は前年比△21%の効果
		B. 主要施策の達成に一定の貢献をしているが、成果向上の余地がある。		
C. 主要施策達成への貢献は小さい。成果向上の余地があまりない。				
③ 行政関与の 必要性	A. 市が主体的に実施すべき。	A	関係法令により市が家庭ごみの処理及び循環型社会の実現を推進するものとされている。	
	B. 民間(企業、NPO等)での実施が可能。			
	C. 民間(企業、NPO等)が主体的に実施すべき。			
④ 効 率 性	A. 業務の簡素化・OA化・外部委託等により効率化が図られている。	A	下水道と連携した効率的な管理運営を進めている。	
	B. 業務の簡素化・OA化・外部委託等、効率化を図る余地がある。			
	C. 業務の簡素化・OA化・外部委託等の効率化がなされていない。			
(自己評価)	⑤ 政策形成過程 への市民参加	項目	具体的内容	
		<input checked="" type="checkbox"/> 市民委員会の開催	恵庭市ごみへらし市民会議にて、ごみ減量化で効果的な方法としては、生ごみを資源化処理することで、下水道システムを活用したバイオガス化が有効であるとの提案を受け、施策形成に取り入れている。	
	<input type="checkbox"/> 広報誌やHPの活用			
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input type="checkbox"/> 説明会・フォーラム等の開催		
	<input type="checkbox"/> 不要	<input type="checkbox"/> 広聴活動の実施		
		<input type="checkbox"/> その他		
前年指摘事項 (2次評価)		未実施		
改善検討事項				
今後の推進方針		理由・具体的改善点		
<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 完了・終了 <input type="checkbox"/> 中断・廃止		既存施設の活用による生ごみのバイオガス化は、恵庭市循環型社会形成推進施策のひとつであり、今後もごみの減量化、リサイクルの推進により継続実施していく。		

		コメント
2 次 評 価	今後の推進方針	
	評価者名	行政改革推進専門部会(ワーキング)
	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 完了・終了 <input type="checkbox"/> 中断・廃止	下水道終末処理場とともに生ごみ・し尿処理場の管理委託についても包括的民間委託について検討されたい。